

産別紹介③
電機連合

電機連合中央執行委員

高橋 英司



全日本電機・電子・
情報関連産業労働組合
連合会（電機連合）は、

発電所、ロボット装置
や鉄道などから、家電
や半導体などの電子部
品、情報通信産業、そ
の関連産業で働く仲間
が結集する産別労働
組合です。

2024年7月現在
では構成組合612組
合、組合員数58万47

電機連合の前進であ
る全日本電機機器労働
組合連合会（電機労連）
は、1953（昭和28）
年6月1日に結成され
ました。当時はそれま
で個別に運動をすすめ
ていた機器電機労連、
全国電機労組、そして
単独企業の労組が大団

結をして、36組合、9
万5556人の産別組
織としてスタートしま
した。

2024年7月現在
では構成組合612組
合、組合員数58万47

01人を数える規模と
なりました。40周年を
機に基本理念と基本目
標を制定し今日に至る
まで運動の前進に取り
組んでいます。

部会など七つの業種別
部会による活動」など、
諸活動を有機的に連携
させて運動を推進して
います。

において、大手だけで
なく中堅中小へ波及す
るよう統一日程、統一
要求などに取り組んで
います。電機産業全体

大手企業とで行う産別
労使協議も大きな特徴
です。

労協関連において
も、電機連合は常に先
駆的な取り組みを展開
し、週休2日制や短時
間勤務制度、育児・介
護休職制度、男女平等
参画に向けた取り組み
結果であると認識して

生産性運動として捉
えると、加盟組合の労
働者の発展や人への投資な
どについて電機連合と

させ、次の処遇改善に
つなげていく大切な取
り組みです。

これらの取り組み
は、組合員の声に真摯
に耳を傾けて、産業全
体の課題として察知
し、週休2日制や短時
間勤務制度、育児・介
護休職制度、男女平等
参画に向けた取り組み
結果であると認識して

一人ひとりが能力を最
大限発揮し、働き続け
られる環境を実現し、
連合を一丸となって展
開をしていきます。